

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第215号

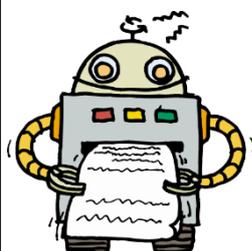
令和6年9月27日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

中高生サイエンスキャリアプログラム 特集号

今年の夏は昨年度に引き続き記録的な「猛暑」でしたが、会員の皆様のご協力により昨年度より多くの講座・イベントを実施することができました。今号では、中高生対象の「中高生サイエンスキャリアプログラム」を紹介いたします。

「中高生サイエンスキャリアプログラム」とは

県内の中高生が、当「協議会」会員である大学・科学館・企業等の施設を訪問し、施設見学、職員・研究者による特別講義、科学体験に取り組むことにより、将来の進学や就職を考えるきっかけとする事業です。今年の夏は会員の皆様のご協力により15の施設で実施することができ、のべ202名の中高生が参加しました。



鎌倉女子大学 管理栄養学科 7月13日(土)



様々な果物の中から好きなものを選び、DNAの抽出実験を行いました。

日本技術士会 神奈川県支部 7月20日(土)



ペットボトルで風力発電装置を作り、発電量を計測し、風力発電の仕組みを学びました。

神奈川県立産業技術短期大学校 7月23日(火)



ランプシェードの製作を通じて、紙を折ることで強度が上がることを学びました。

三菱みなとみらい技術館 7月25日(木)



ロケットなどの館内展示を見学の後、班ごとに模擬ロケットを作り発射実験を行いました。

株式会社ミットヨ ミットヨ測定博物館 7月26日(金)



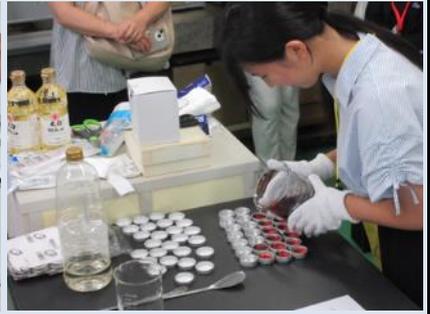
博物館の見学やマイクロメーター等の測定体験を通じて測定器について学びました。

青山学院大学 社会情報学部 7月27日(土)



チームで自由にプログラムを考案し、発表を通じてプログラミングについて学びました。

北里大学 薬用植物園 7月28日(日)



薬用植物園を見学し、実際に昔ながらの製法で軟膏の製作を体験することができました。

神奈川工科大学 7月30日(火)



身のまわりにある水を実際に分析し、水によって含まれる成分が違うことを学びました。

湘南工科大学 8月4日(日)



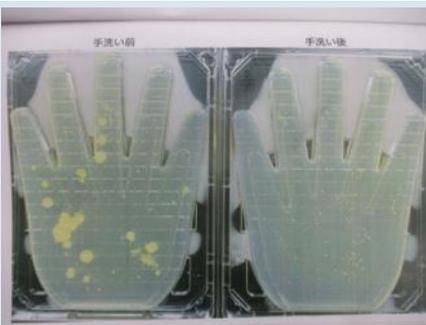
スポーツドリンクを実際に作製し、参加者は楽しみながら成分を学んでいました。

横須賀市自然・人文博物館 8月6日(火)



特別展やバックヤードを見学でき、学芸員さんの説明に参加者は興味津々でした。

北里大学 保健衛生学科 公衆衛生学 8月7日(水)



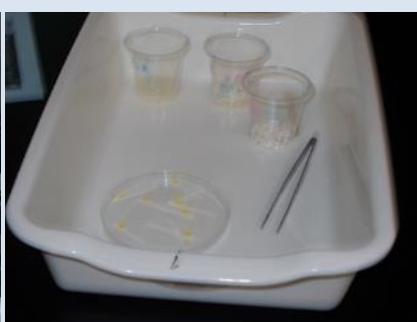
手に付いた細菌の培養やATPの拭き取り検査を通じ、食中毒について学びました。

北里大学 保健衛生学科 環境衛生学 8月7日(水)



凝集実験を通じて、県内の水源や浄水施設の仕組みを学習することができました。

鎌倉女子大学 教育学科 8月8日(木)



家庭でも手に入る材料で発酵の実験をし、甘酒の作り方とその仕組みを学びました。

あつぎロボットゆうえんち 8月22日(木)



参加者はロボットの操縦体験やプログラミング体験をとっても楽しんでいました。

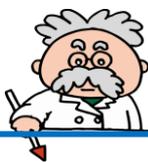
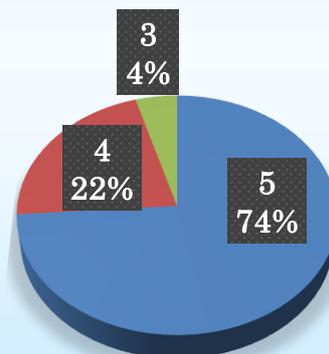
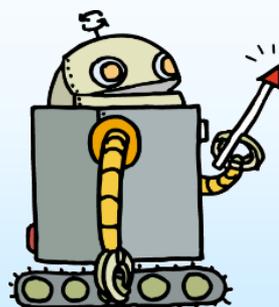
北里大学 北里アクアリウムラボ 8月23日(金)



学生に丁寧に説明してもらい、アクアリウムの見学や餌やり体験をすることができました。

参加者の満足度調査結果

来場者のアンケートによる満足度調査の結果は下のグラフの通りです。199名がアンケートに回答し、5点満点の満足度で5と4を合わせると96%、全体の平均でも4.7でした。特に2のやや不満、1の不満の回答は0であり、どの講座も参加者がとても満足してくれるプログラムであったことが分かる結果となりました。会員の皆様のご協力ありがとうございました。



事務局から

新型コロナウイルスが昨年5類となり一年経ちました。昨年度の夏よりも様々なイベントで参加者が増えて来ており、やっとコロナの影響から完全に回復してきたと実感しています。コロナ禍で体験の機会が減ってしまった子どもたちのためにも、多くの体験の機会を提供していけるよう会員の皆様にもご協力いただくと幸いです。

次回の第216号では、「子ども科学探検隊」の様子を皆様に報告したいと思います。

(事務局:奥村、山田、上田、山口)